

2018年10月2日

## Press release

中小企業向け事業保険のエヌエヌ生命  
高校生自らが社会問題の解決に挑む大会  
「Social Innovation Relay 2018」を開催

生命保険を通じて日本の中小企業を応援するエヌエヌ生命保険株式会社（代表取締役社長：フランク・エイシク、本社：東京都千代田区、以下「エヌエヌ生命」）は本国 NN グループと、ジュニア・アチーブメント・ヨーロッパおよび公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本との共催で、「Social Innovation Relay 2018（ソーシャルイノベーション・リレー、通称：『SIR』）」を2018年10月2日より開催します。

SIR は国内外の高校生を対象に、国内大会と国際大会の2つの構成で実施します。大会は、生徒自らが教育や女性活躍、地域活性化、高齢化社会といった、日々の身の回りにおける課題を見つけ、その課題をソーシャルビジネスとして解決するためのアイデアを生み出し、競い合います。

国内大会は主に書面における表現力とプレゼンテーションのスキルが求められます。一方の国際大会は各国の生徒たちを相手に、英語でのプレゼンテーションをすることが前提となります。そのため、両大会ともに、エヌエヌ生命の社員がメンターにつき、生徒たちと共に優勝を目指して様々なアドバイスを行っていきます。

前回は国内大会には全国から総勢110チームの高校生が参加しました。また6月の国際大会には計10カ国の代表チームが出場し、日本からは京都府立洛北高等学校の男子生徒2名による「AmaFessional」チームが挑みました。同チームは、多言語対応のオンライン学習共有プラットフォームの開発と普及を行うビジネスアイデアを提案し、国際大会参加10チーム中シンガポール、スペインの代表に次ぐ第3位を獲得しました。

「Social Innovation Relay 2017/18」の概要および昨年の参加校のコメントは別紙よりご確認ください。



国内大会の優勝の様子（2018年2月4日）



国際大会でプレゼンする「AmaFessional」チーム（2018年6月19日）

当協賛に関するお問い合わせ先

エヌエヌ生命保険株式会社 広報部 TEL:03-5210-5599 FAX:03-6685-7700

当コンテストへのお申し込みに関するお問合せ

公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本（担当：高木、黒木）

TEL: 03-5781-0603 FAX:03-5460-2403 E-mail: tmasa@ja-japan.org

エヌエヌ生命は、オランダにルーツを持ち、170年におよぶ伝統を誇るNNグループの一員です。NNグループは、欧州および日本を主な拠点とし、18カ国にわたり、保険および資産運用事業を展開しています。その名は、源流である「ナショナル・ネーデルランデン」に由来しています。エヌエヌ生命は、1986年に日本で初めてのヨーロッパ生まれの生命保険会社として営業を開始して以来、30年以上にわたり、中小企業とその経営者が財務や財産の面で安定した将来を確保できるよう支援しております。

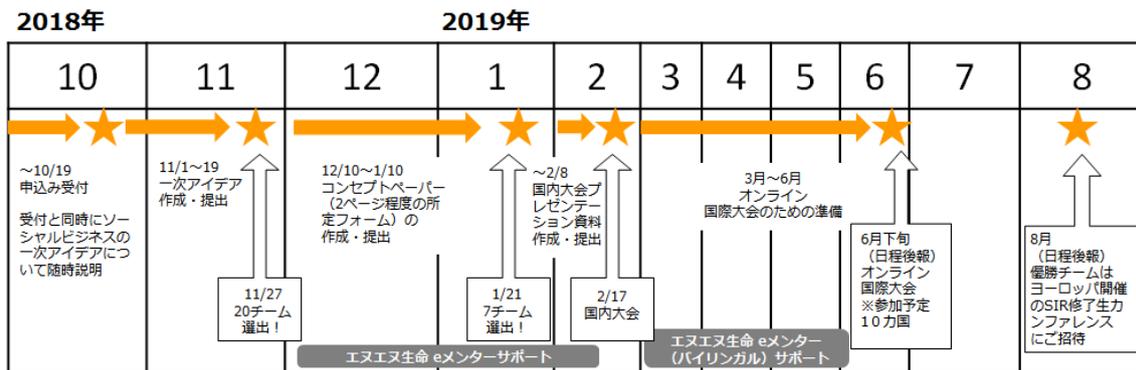


## 大会要領

共 催： エヌエヌ生命保険株式会社、NN グループ  
 公益社団法人ジュニア・アチーブメント日本、  
 ジュニア・アチーブメント ヨーロッパ (Young Enterprise)

アワード： (国内大会優勝) オンライン国際大会出場権と図書カード、表彰状  
 (同準優勝・3位) 図書カードと表彰状

## コンテストの流れ



## 参加資格 (※下記①~⑤を全て満たしていること)

- ① 日本在住で日本国内の高校に通う1~2年生  
 ※インターナショナルスクールならびに海外から日本への留学生は、特別招待枠<sup>(注)</sup>への応募が可能です。  
 (注) 1チームを特別招待として国内大会へ選出します。
- ② 1チーム2~4名の範囲で構成して下さい。異なる高校の生徒さんと組んでいただいても構いませんが、必ず所属校の先生の許可を得て応募して下さい。国内大会に進出し、東京へお越しいただく旅費支給対象は、生徒2名とします。誠に恐れ入りますが、引率の先生の旅費補助はありません。
- ③ 国内・国際大会では、広報活動の一環で写真・ビデオ撮影を行い、エヌエヌ生命、ジュニア・アチーブメント双方の広報紙やウェブサイト、Facebook等での公開およびメディアへの情報配信を行うほか、取材やインタビューを受けていただく場合があります。参加申し込みはこの点をご承諾いただくことを条件とします。
- ④ 主催者からのアンケートや調査に回答していただけること
- ⑤ パソコンからインターネットに接続できる環境にあること  
 (専用サイトはスマートフォンからは利用できません)

## 申込み方法

オンラインのエントリーフォーム <http://ur0.work/M6DR>

または下記QRコードからお申込みできます。



申込締切：2018年10月19日(金) 23:59 受信分まで

2018年国際大会に進出した京都府立洛北高等学校「AmaFessional」チーム・梅澤 凌 我 さんと  
芦田 航一 さんのコメント：

「世界10チーム中3位入賞という結果を得ることができ、本当に嬉しいです。教育格差という世界的な問題に対して、AmaFessionalが大きな変革をもたらし得るということを伝えられたのではないかと思います。

この結果は、たくさんのメンターの方々にアドバイスを頂いたおかげです。例えば、どこを拠点にビジネスを進めていくのかや、収支計画の問題など、私たちだけではなかなか想像しにくい部分にアドバイスを頂き、とても参考になりました。ビジネスの現実可能性を検討しつつ、新鮮さを失わないアイデアにまとめ上げるのは大変でしたが、二人で時間を掛けて話し合っ、完成させることができました。当日の発表は、とても緊張しました。質問も聞き取れない所が多く、自分の英語力の拙さを痛感しました。他チームの発表は刺激的で、直接話をする時間がなかったのが残念に思われるくらいでした。自分たちのアイデアも含めて、ソーシャルメディアやアプリを使って人と人を繋げたり、人の意識を拡張するようなアイデアが多く、インターネットを利用したサービスに潜在的な可能性を感じました。

今回の経験は、自分に自信を持ちつつも、さらに優秀な人たちが広い世界にたくさんいるのだということをおぼろげに思い出さなければいけないということをおぼろげに教えてくれた、非常に価値のあるものでした。これからは社会に潜む様々な問題に積極的に目を向け続け、自分は何が出来るのかということをおぼろげに考えたいと思います。」(芦田さん)

「この度、Social Innovation Relayの世界大会に日本代表として出場し、世界3位をいただけたことに、この上ない驚きと喜びを感じています。

中学三年生の時にこの大会を知って以来、絶対出ようと考えていた SIR。正直、自分たちが世界大会に出るなんて夢にも思っていませんでした。

今回、私たちが提案させていただいたソーシャルビジネス、AmaFessionalはこの大会に出るにあたって考え始めたものではありません。日々の生活の中で、『誰もが自分の得意なことを共有しそれを誰かのために活かせる場所があれば面白いな』と思ったのがはじまりです。Social Innovation Relayはそんな僕の一つの思いつきにすぎないアイデアをここまで成長させ、世界に発信する機会を与えてくれました。この半年間、ビジネスをブラッシュアップしていくにあたって様々な壁や問題にもぶつかりました。時には自分たちの軸となるコンセプトを折りそうにもなりました。しかし、メンターさんからの多大なるご支援もあって、自分たちのアイデアを多くの人に届けたいという気持ちで前に進めていくことができました。英語のネイティブでもなければ帰国子女でもない、ただの地方の公立高校に通う高校生がここまでできたのは、本当にこのサポートがあつてこそだと思っています。

僕の将来の夢は、実業家として機会の不平等が痛みを生み出さない社会をつくっていくことです。SIRはそんな僕にとって本当に素晴らしい経験を与えてくれました。これからは SIR で学んだことを忘れずに自分の目標に向かって毎日を過ごして行きたいと思っています。」(梅澤さん)

### ジュニア・アチーブメントについて

1919年米国で発足した世界最大の経済教育団体で、民間の非営利活動を展開しています。日本本部の設立は1995年で、教材を導入する学校は全国に拡大しています。社会情勢がいかように変化しようとも、子どもたちが「社会のしくみや経済の働き」を正しく理解し、自分の確たる意志で進路選択・将来設計が行えるよう、基本的資質(主体的に社会に適応できる力)を育むための支援を提供しています。詳しくは、ウェブサイト [www.ja-japan.org](http://www.ja-japan.org) をご参照ください。

### エヌエヌ生命の社会貢献活動「未来の社長」

エヌエヌ生命は、「未来の社長」を新たな社会貢献活動のテーマに据えています。日本の中小企業を支える生命保険会社として、次世代を継ぐ学生や子どもたちに教育機会や起業・経営に関する育成機会の創出を目指しています。

